

教職員の勤務状況等調査結果【令和6年10月のまとめ】

令和6年12月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の調査に御協力いただきありがとうございます。令和6年10月分の時間外在校等時間の集約結果を以下の通り報告いたします。



令和6年10月の状況について

■毎月、45時間超の方、80時間超の方の割合を掲載しておりますが、今月は令和4年度からの平均時間もあわせて掲載させていただきました。昨年からの推移では、中学校、高等学校での減少幅が大きくなっております。しかしながら、中学校においては平均でも45時間を超える状況がありますので、継続して業務軽減を進めていく必要性があるといえます。

在校等時間は例えば“持ち帰り仕事”を含まないなど、働いた全ての時間を示すものではありませんが、勤務状況を知る大事な指標であり、その縮減は急務です。今後とも御理解御協力をお願いいたします。



「令和6年度 教職員の業務状況等調査」より

		45H超	80H超	平均時間外在校等時間
小学校	令和4年10月	25.0%	1.3%	33:58
	令和5年10月	25.0%	1.5%	33:47
	令和6年10月	25.0%	1.4%	33:17
	R5→R6	増減なし	0.1pt減	30分減
中学校 (義務教育 学校含む)	令和4年10月	53.5%	11.6%	48:45
	令和5年10月	51.2%	11.2%	47:44
	令和6年10月	49.4%	10.0%	46:21
	R5→R6	1.6pt減	1.2pt減	1時間23分減
高等学校 (中等教育 学校含む)	令和4年10月	28.3%	6.6%	33:13
	令和5年10月	27.4%	5.8%	32:41
	令和6年10月	24.9%	5.0%	30:55
	R5→R6	2.5pt減	0.8pt減	1時間46分減
特別支援 学校	令和4年10月	3.9%	0.1%	18:12
	令和5年10月	3.1%	0.1%	16:40
	令和6年10月	2.9%	0.1%	16:33
	R5→R6	0.2pt減	増減なし	7分減

■先月に引き続き、教職員の業務状況等調査で各学校の校長先生からいただいた御回答のうち、各校における業務改善の工夫や特筆すべき取組について、自由記述欄に入力いただいたものを一部紹介いたします。(今月は高等学校、特別支援学校の例)

Q 各学校における具体的な業務改善の取組のうち、特筆すべきものがあれば記述してください。

【高等学校の例】

- ぐんまコミュニティ・ハイスクール事業について、会議の縮小や教育目標の重なる行事の統合を図っている。
- 高等学校教育研究会の総会の書面決着化、メディア部会の廃止等、学校行事を可能な限り生徒主体とし、教職員の支援を可能な限り減らす。廃止可能な認印を必要とする書類の廃止。職員室や校内の特別教室等の整理整頓。
- 朝会を原則廃止し、学校行事・職員会議等で打合せが必要な時は臨時開催している。
- 教職員による中学校訪問は廃止し、生徒に出身校訪問をってもらっている。
- 進路指導における求人票のICT化
- 音声ガイダンスによる学校電話取り次ぎシステムの導入(事務室の取り次ぎ業務軽減)17時15分以降の電話対応の廃止
- 年度末に行っていた入学予定者説明会を廃止し、各担当者からの説明を動画配信し視聴してもらっている。

【特別支援学校の例】

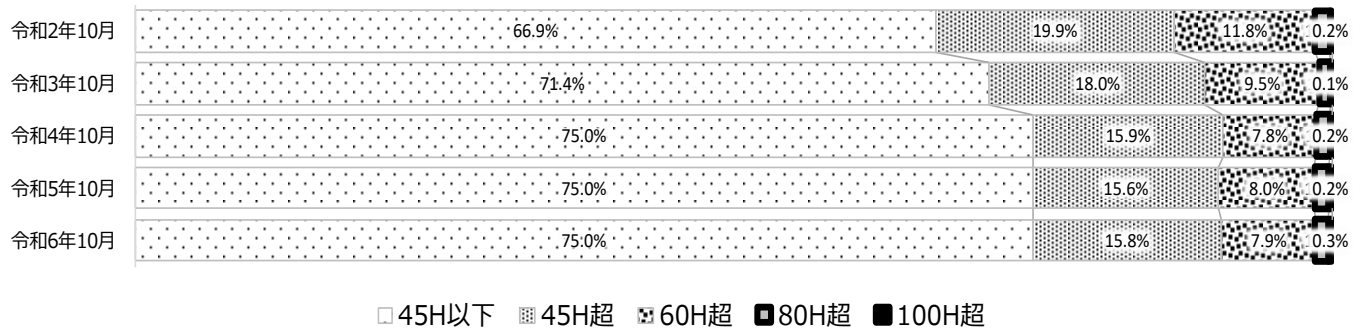
- 今年度から、校務支援システム「kinako」を全面的に導入し効率化・ペーパーレス化を図っている。
- 朝の職員全体打合せの縮小、廃止(kinakoの活用)
- 過年度卒業生徒を対象とした任意団体(予後指導後援会)におけるイベント企画等の教員業務の廃止、それに伴う予後指導後援会の解散。登校時の保護者送迎時における教職員による誘導を廃止。
- スクールバスについて、専用のフォームを使用した出欠連絡としたり、定時運行としたことで、連絡対応がなくなった。
- 交流及び共同学習に係る市町村への文書依頼(廃止)、全校朝会(縮小)、各種会議(ICT化)、会議資料作成(ICT化)、研修(ICT化及びハイブリット化)、学校評価(今後ICT化)校外施設見学(一部オンライン化)
- 特別支援学校という特殊事情から、保護者との面談を廃止することは考えにくく、維持・増加の傾向はある。

■「以前と比べて業務負担が改善した(効率化された、負担感が軽減した業務がある)と感じる理由として特筆すべきものがあれば、記述をお願いします。」という質問に対する教諭以外の方からの回答例を一部紹介します。

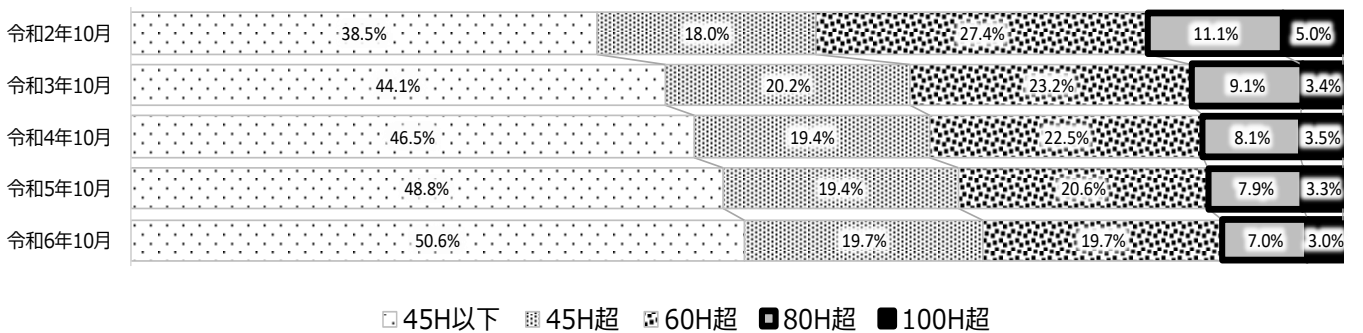
- 会計年度任用職員が6月から勤務してくれ、外部対応だけでなく事務処理もできるため、大変助かっている。(事務職員)
- 教材費集金における口座振替化(事務職員)
- 欠席連絡を専用のシステムで行うようにした。朝の電話対応が大幅に減少した。(事務職員)
- 市費任用校務補助員の配置による事務処理全般の負担軽減(事務職員)
- kinako、すくーねっとの導入で負担が軽減した。(養護教諭)
- 民間委託化により調理業務が効率化し、食に関する指導の充実が図られた。(学校栄養職員・栄養教諭)
- 出勤簿・休暇簿のペーパーレス化(学校司書)
- 校長が職員の負担を考え、業務の改善と効率化を職員会議で指示してくれた(実習助手)
- 朝の電話対応が楽になった。(公仕)

時間外在校等時間の状況【10月の経年変化】

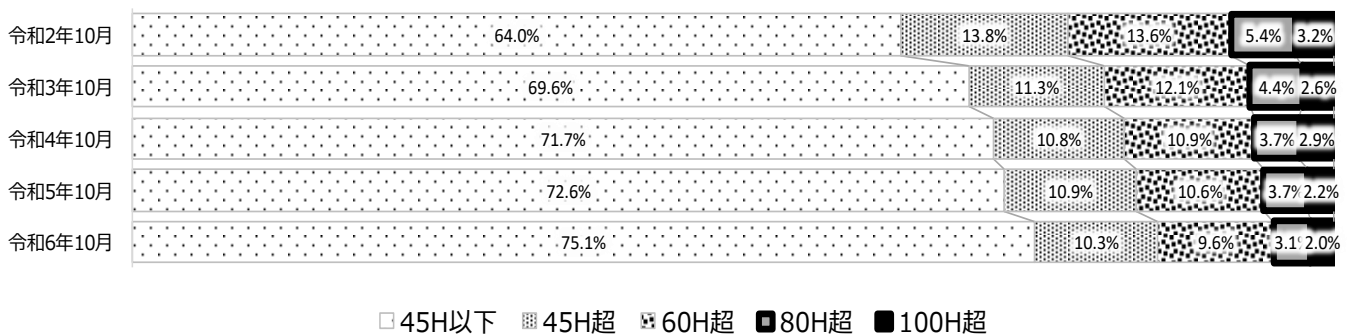
1 小学校の状況



2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



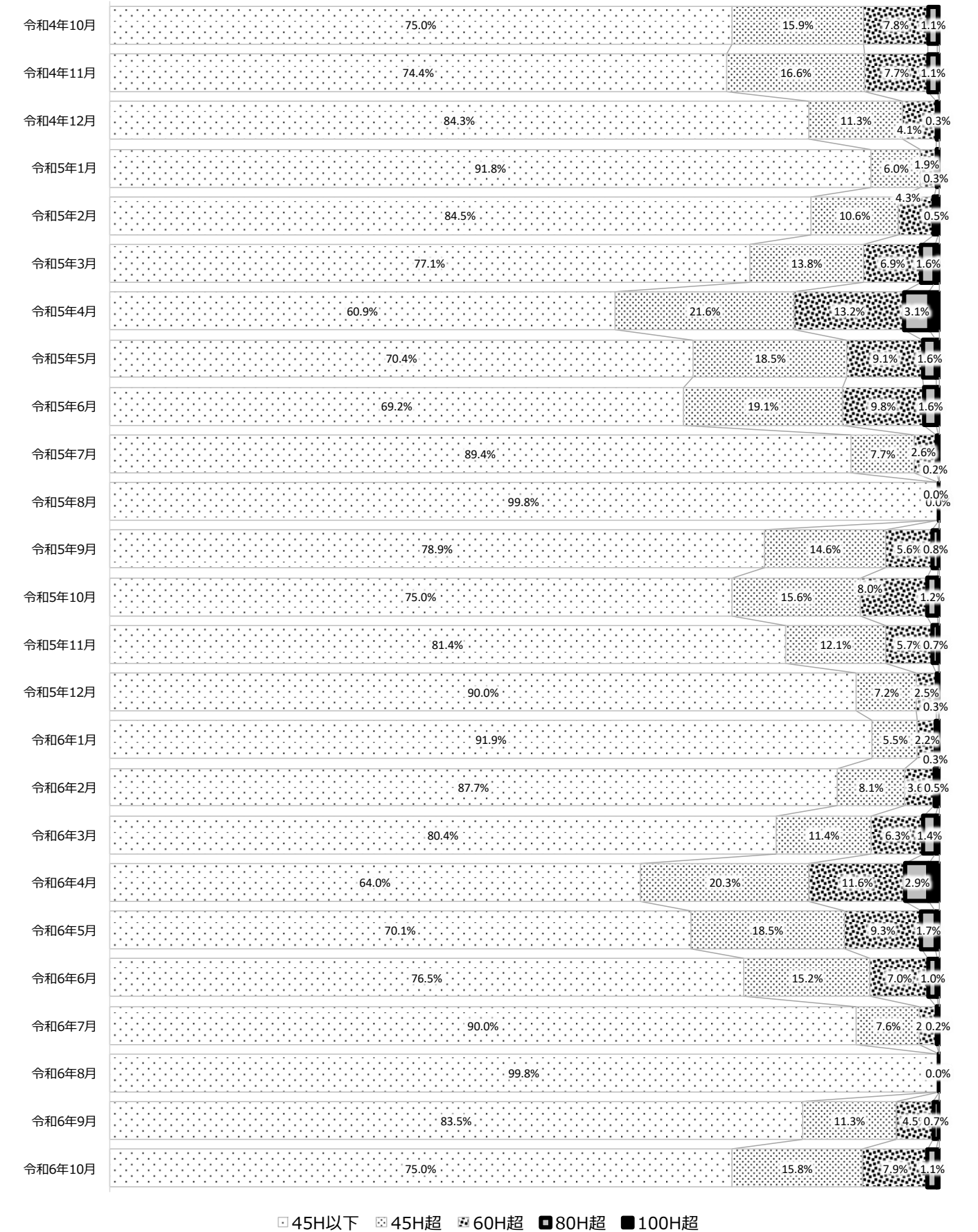
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和4年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

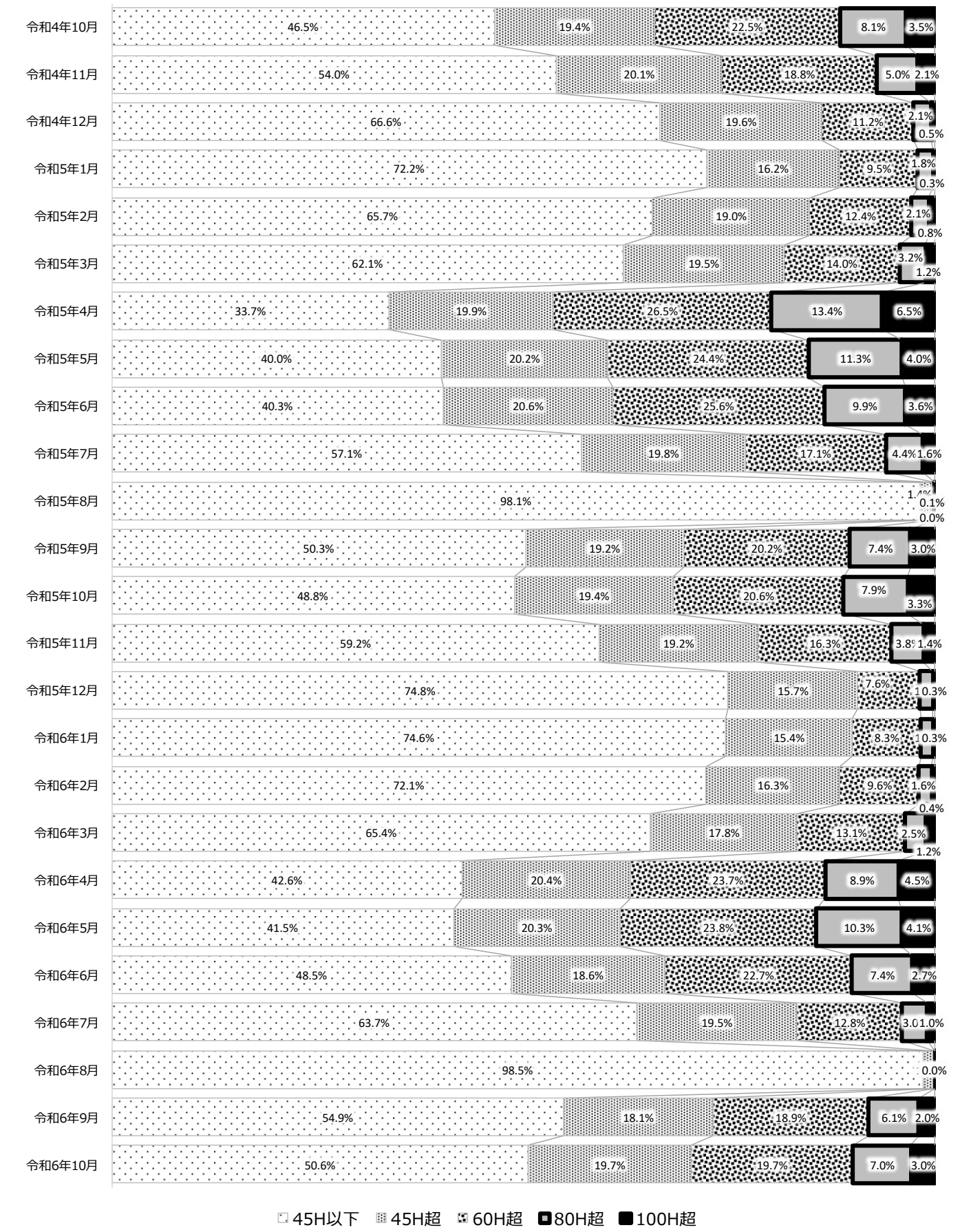
1 小学校の状況



時間外在校等時間の状況【令和4年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

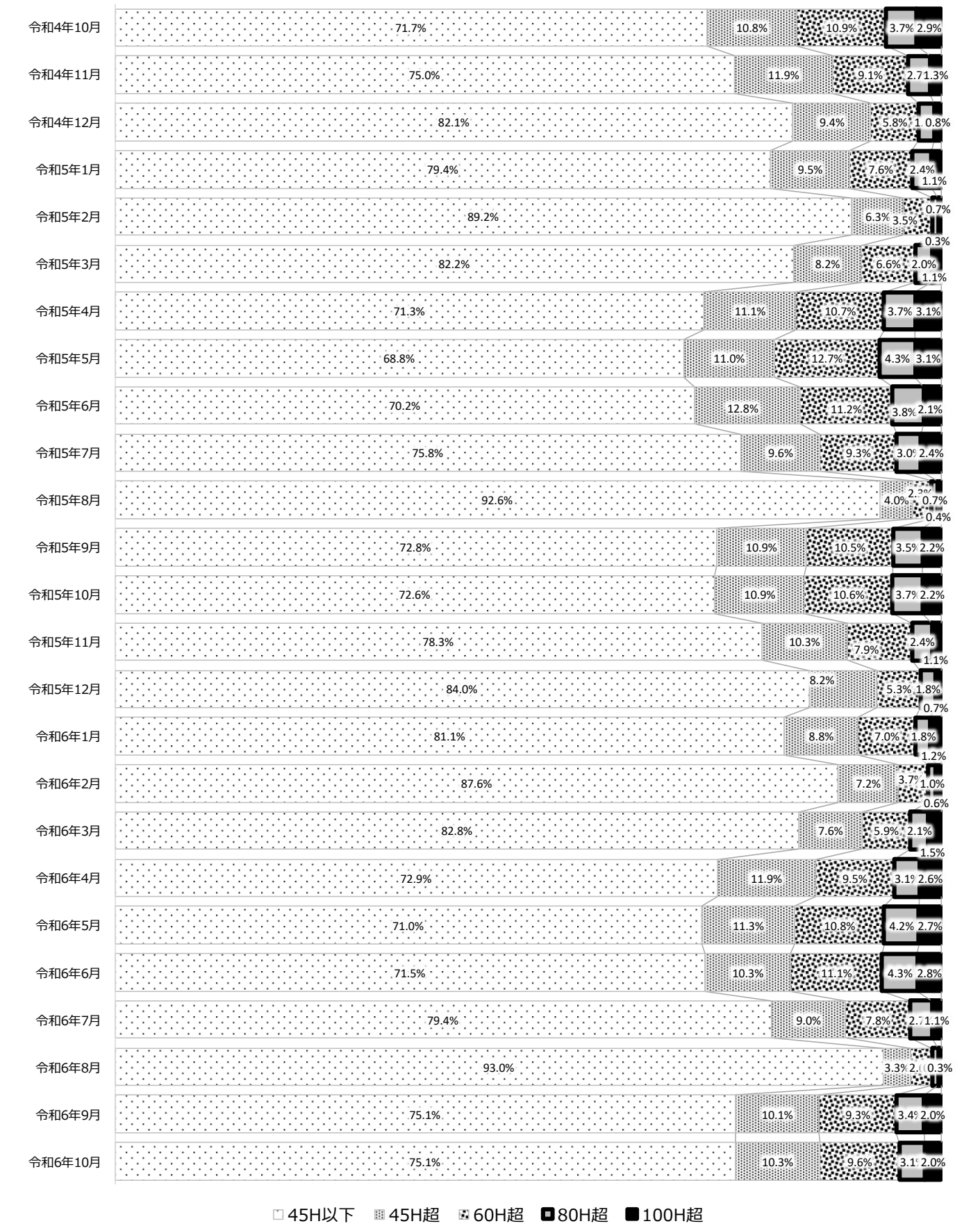
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和4年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



時間外在校等時間の状況【令和4年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

